

令和6年度 埼玉県学力・学習状況調査 学力調査について

※網掛けは、県平均以上を意味する。

- ◆ ⇒ 最大値(最も学力が高い児童・生徒が属する学力レベル)
- ⇒ 75%値(学力の高い順に並べたときに、上から数えて25%にあたる児童・生徒が属する学力レベル)
- ▲ ⇒ 中央値(学力の高い順に並べたときに、上から数えて50%にあたる児童・生徒が属する学力レベル)
- ✕ ⇒ 25%値(学力の高い順に並べたときに、上から数えて75%にあたる児童・生徒が属する学力レベル)
- * ⇒ 最小値(最も学力が低い児童・生徒が属する学力レベル)

○平均正答率

国語	小4	小5	小6	中1	中2	中3
久喜市	54.2	58.9	57.5	60.5	57.3	52.6
埼玉県	51.9	56.9	56.7	59.9	60.2	55.5
県との差	2.3	2.0	0.8	0.6	△2.9	△2.9

○学力の伸び

国語	小4	小5	小6	中1	中2	中3
久喜市	-	2	0	1	0	2
埼玉県	-	1	0	1	0	2

○思考・判断・表現問題正答率

国語	小4	小5	小6	中1	中2	中3
久喜市	48.9	52.8	50.9	55.1	62.2	59.4
埼玉県	45.9	49.5	50.4	54.5	64.2	64.0
県との差	3.0	3.3	0.5	0.6	△2.0	△4.6

算数・数学	小4	小5	小6	中1	中2	中3
久喜市	62.4	54.0	51.4	54.3	46.1	54.3
埼玉県	62.6	53.4	50.9	53.5	48.8	57.5
県との差	△0.2	0.6	0.5	0.8	△2.7	△3.2

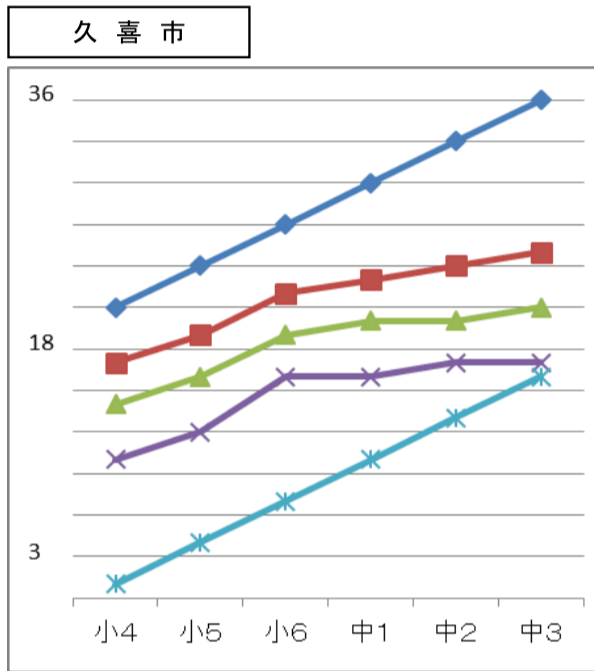
英語	中2	中3
久喜市	60.2	51.0
埼玉県	61.9	54.6
県との差	△1.7	△3.6

算数・数学	小4	小5	小6	中1	中2	中3
久喜市	-	1	2	-1	3	0
埼玉県	-	1	1	1	2	0

英語	中2	中3
久喜市	-	2
埼玉県	-	3

算数・数学	小4	小5	小6	中1	中2	中3
久喜市	37.9	47.7	35.2	34.4	35.4	52.9
埼玉県	37.6	48.1	35.0	31.4	36.8	55.1
県との差	0.3	△0.4	0.2	3.0	△1.4	△2.2

英語	中2	中3
久喜市	48.1	33.5
埼玉県	49.5	37.6
県との差	△1.4	△4.1



◆成果と課題(○:成果 ●:課題)

○小学校4・5・6年生国語と中学校1年生国語、小学校5・6年生算数と中学校1年生数学で埼玉県平均正答率を上回った。
 ○中学校2年生から中学校3年生の学力の伸びを見ると、1年間で多くの階層で学力が伸びている。特に、上位層と下位層で大きく学力が伸びている様子が分かる。
 ○問題形式別では、小学校4・5・6年生国語と中学校1年生国語、小学校4・6年生算数、中学校1年生数学において思考・判断・表現の正答率が県平均を上回った。
 →全体的には、久喜市の児童生徒の学力は伸びているといえる。家庭、地域と連携した各学校の取組が成果を挙げているものと捉えている。今後は、「久喜市版未来の教室」の実現に向け、クラウドを基盤とした主体的・対話的で深い学びの視点からの「授業改善」及び「個別最適な学び」をさらに推進し、より一人一人にあった学びを提供することで学力向上を目指す。
 ●国語では、小学校6年生、中学校1年生の「読むこと」、中学校では全領域について、算数・数学では、小学校では「データの活用」、中学校では全領域、英語では、中学校2年生の「書くこと」が埼玉県平均を下回った。→正答率の低かった項目については、市独自の学力テスト(久喜市ステップアップテスト)で出題するとともに、一人一人の正答状況に合わせた補習問題を提供することで改善を図る。また、AI型ドリルなどの活用を進め、「個別最適な学び」を実践し、知識技能の習得及び定着を図るようにしていく。

質問紙調査について

○学習方略

主体的・対話的で深い学びの実施

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
久喜市	3.96	3.87	3.92	3.97	3.87	3.78
埼玉県	3.92	3.87	3.85	3.86	3.80	3.72
県との差	0.04	0.00	0.07	0.11	0.07	0.06

柔軟的方略

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
久喜市	3.80	3.64	3.78	3.73	3.62	3.72
埼玉県	3.75	3.66	3.67	3.68	3.61	3.72
県との差	0.05	△0.02	0.11	0.05	0.01	0.00

プランニング方略

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
久喜市	3.80	3.67	3.76	3.70	3.50	3.50
埼玉県	3.75	3.68	3.65	3.66	3.51	3.54
県との差	0.05	△0.01	0.11	0.04	△0.01	△0.04

作業方略

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
久喜市	3.56	3.42	3.49	3.57	3.45	3.58
埼玉県	3.59	3.47	3.43	3.60	3.51	3.62
県との差	△0.03	△0.05	0.06	△0.03	△0.05	△0.04

認知的方略

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
久喜市	4.05	3.98	4.02	4.02	3.80	3.83
埼玉県	4.03	3.98	3.97	3.93	3.78	3.87
県との差	0.02	0.00	0.05	0.09	0.02	△0.04

努力調整方略

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
久喜市	3.80	3.74	3.79	3.81	3.50	3.47
埼玉県	3.85	3.85	3.75	3.79	3.54	3.53
県との差	△0.05	△0.11	0.04	0.02	△0.03	△0.06

○非認知能力(参考値)

	小4		小5		小6		中1		中2		中3	
	自己効力感	向社会的性	自己効力感	自制心	自己効力感	やりぬく力	自己効力感	向社会的性	自己効力感	勤勉性	自己効力感	向社会的性
久喜市	3.79	4.02	3.60	3.91	3.57	3.05	3.44	4.04	3.18	3.67	3.20	3.92
埼玉県	3.80	4.00	3.65	3.92	3.57	3.03	3.37	4.02	3.18	3.67	3.21	3.86
県との差	△0.01	0.02	△0.05	△0.01	0.00	0.02	0.07	0.02	0.00	0.00	△0.01	0.06

◆学習方略とは？

学習の効果を高めるために児童生徒が意図的に行う活動

- 柔軟的方略…学習の仕方を自分の状況に合わせて柔軟に変更していく活動
質問例) 勉強で分からないところがあったら、やり方をいろいろ変えてみる。
- プランニング方略…計画的に学習に取り組む活動
質問例) 勉強するときは、最初に計画を立ててから始める。
- 作業方略…ノートに書く、声に出すといった、「作業」を中心に学習を進める活動
質問例) 勉強で大切なところは繰り返し書いたりして覚える。
- 人的リソース方略…友人を利用して学習を進める活動
質問例) 分からないところがあったら友達に勉強のやり方を聞く。
- 認知的方略…より自分の理解度を深めるような学習活動
質問例) 新しいことを勉強するとき、今まで勉強したことと関係があるかどうか考えながら聞く。
- 努力調整方略…「苦手」をコントロールして学習への動機を高める活動
質問例) 問題が退屈でつまらないときでも、それが終わるまでやり続けられるよう努力する。

◆非認知能力とは？

意欲や姿勢などのように数値化されない能力

- 例) 自制心…イライラしない、心の平静を保てる 自己効力感…自分への自信、自己肯定力
- 勤勉性…やるべきことをきちんとやる やりぬく力…粘り強い、根気がある
- 向社会的性…相手の気持ちを理解、共有し(共感)、自分よりも相手を優先させようとする 心情や行動

質問紙調査から見えるもの

○学習方略においては「プランニング方略」において全ての学年が県平均の数値を上回った。また「柔軟的方略」と「認知的方略」では多くの学年が県平均の数値を上回った。非認知能力においては、県平均と比べ「向社会的性」の項目が全体的に高かった。また小学校6年生の「やりぬく力」と中学校1年生の「自己効力感」が県平均と比べ特に高かった。→クラウドを基盤とした「複線型の学び」による、各教科における探究的な学びを目指した授業改善により、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実が結果に現れていると捉える。今後は、NEXT GIGAを見据え、学習履歴の利活用やAIの活用を進め、学力向上に努めるとともに、学習方略、非認知能力を高めていく。